

「ふくいのおいしい水」追加認定の湧水等

	湧水等の名称 (所在地)	参考
1	じょうほうじさんしょうずこ ば 浄法寺山清水小場 (永平寺町上浄法寺)	上浄法寺集落から入る「浄法寺山青少年旅行村」にある。 標高 1053mの浄法山中腹 520mのキャンプ場「浄法寺山青少年旅行村」の大切な水源として、多くの利用者や登山客に憩いと安らぎを与えている。水量が多く、夏季でも冷たいこの水を目当てに登山を楽しむ人も多い。
2	けら がしろうず 解雷ヶ清水 (越前市千合谷町)	旧武生市街から越前町米ノに通じる千飯トンネルの手前南にある。 約 1400 年前、戦火を逃れてこの地を訪れた百済の王女「自在姫」が乾きに苦しみ、岩を杖で突いて湧き出たとも、王女の乗った馬が岩を蹴って湧き出たともいわれている。干ばつでも水は涸れない。不動明王が祀られており、七夕の祭礼の場となっている
3	みのわき ときみず 蓑脇の時水 (越前市蓑脇町)	蓑脇集落から標高約 600mの大平山に入った中腹にある。 2 時間から 6 時間に 1 回湧き出したり止まったりする「間歇冷泉」である。最高水位に近くなると下流の滝の音が大きくなり、昔、時間を知る目安になっていた。環境省の「日本の音風景百選」に認定されている。
4	じさがわい ど 治左川井戸 (越前市上真柄町)	集落内に端を発する治左川の水源の湧水と同じ地下水を井戸で汲み上げている。 治左川には、清水にしか生育しない梅花藻(バイカモ)が繁殖し、淡水魚トミヨの県内唯一の生息地となっている。地域の保全団体がトミヨの観察水槽や解説版を設置している。
5	うぐいすまうず 鶯清水 (南越前町西大道)	J R 南条駅の線路を挟んだ反対側にある。 昔から街道沿いにあり、旅の疲れをいやす憩いの水として親しまれ、朝倉孝景も文明 6 年の杣山合戦の際、ここで休息したと伝えられている。 珪石と粘板岩の間から流れ出る清水は、昔から水量も変わらず、冷たくまるやかといわれて愛用されている。
6	いつき ゆうすい 伊月の湧水 (大野市伊月)	J R 九頭竜湖駅から県道 127 号を福井和泉スキー場に向かう途中の石徹白川の対岸、伊月地区にある。 旧和泉村が、この湧水を利用して、勝山市の酒造会社の協力により吟醸酒「穴馬紀行」を村限定商品として企画、販売していた
7	たらたら山 「白竜の滝の霊水」 (勝山市村岡町浄土寺)	勝山市街から国道 157 号を北進し、浄土寺川に沿って右に折れ、約 600m 上流へ進んだところにある。 洞窟の中の岩間から絶えず水が滴り落ちており、水量が多い。 水源は平泉寺の御手洗池で、ここで流れ落ちた水は再び地下に潜って東尋坊へ流れ着くといわれている。
8	かみや みず 神谷の水 (勝山市村岡町栃神谷)	勝山市街から国道 157 号を北進し、暮見トンネルを過ぎた栃神谷集落の端を右折したところにある。 山中の水源から導水され、蛇口から流れ出ている。
9	たきのどう 滝之堂 (勝山市平泉寺町平泉寺)	平泉寺地区の東の山間にある平泉寺第 1 発電所の女神川の対岸を数十mを上ったところにある。 岩間から耐えず水が滴り落ちており、水量が多い。簡易水道用に集水され平泉地区の水源となっている。
10	みか たいしかんのん れいすい 三方石観音の霊水 (若狭町三方)	国道 27 号三方石観音交差点を東に入ると、弘法大師が一夜のうちに彫ったといわれる石観音が安置されている本堂があり、ここから林道を 400m ほど山手に入ったところにある。 筒から石臼に流れ出ており、冷たくて夏でも涸れることはない。
	10 か所	

(参考)

「ふくいのおいしい水」認定湧水等(平成18年1月認定分)

	湧水等の名称 (所在地)	参考
1	ぜんりんじ かんろせん 禅林寺の甘露泉 (福井市徳尾町)	禅林寺の境内にあり、甘くてまるやかといわれている。炊飯・お茶に使うため遠方から水を汲みに来る人もいる。
2	すいぶんじんじゃ 水分神社湧水 (福井市長橋町)	水分神社境内の左右から湧き出ており、水量が多い。水神様に奉納相撲が行われ、地域に密着している。
3	さかしょうず 酒清水 (福井市徳尾町)	鯖江市境の手前にあり、かつては酒が湧き出たという言い伝えがある。現在、鯖江市内の酒造会社が醸造にこの水を利用している。多くの人が水を汲みに来ている。
4	こうしょうじあとし かんろすい 弘祥寺跡地の甘露水 (福井市金屋町)	越前朝倉氏の氏寺「弘祥寺」の境内跡地にあり、体調を崩した人でも甘い水だと言って飲んだといわれている。地区の住民が、石組みや看板の設置等の整備を行っている。
5	めいすいあしたに しょうず 名水足谷の清水 (福井市足谷町)	足谷町集落内の道路沿いにあり、クセのないおいしさといわれている。石造物から石臼に流れ出ている。
6	きんこうすい 金光水 (福井市荒谷町)	本郷公民館から荒谷町に入った集落の奥にあり、林道沿いから湧出している。
7	こ わしょうず 小和清水 (丸岡町上久米田)	国道364号の六呂瀬山古墳群の1km東を北に入ったところにあり、水量は多い。嘉永6年の大干ばつするとき、地元地区の住民は、この清水のおかげで難を逃れたといわれている。
8	しょうずふ どうそん みず お清水不動尊の水 (越前市吾妻町〔旧武生市〕)	JR武生駅の近くにあり、もともとは湧水であったが、現在は地下水を汲み上げている。地域住民に「おしょうずさん」と呼ばれて親しまれている。
9	よのきしょうず 榎清水 (越前市横住町〔旧今立町〕)	主要地方道武生・美山線沿いにある。かつて、この清水のあたりは榎の大樹が空をおおい、この樹に寄る人々に涼を与え、流れ出る清水が心を癒したといわれている。「よのき清水」として地区の人に親しまれている。
10	うりわりしょうず 瓜割清水 (越前市赤谷町〔旧今立町〕)	赤谷集落に入ってすぐの東側にある。水に浸けた瓜が割れたことから古くから地元で「瓜割清水」と呼ばれ、地区の住民により長寿の水として親しまれている。遠方から水を汲みに来る人もいる。
11	いしどう みず 石堂の水 (越前市西河内町〔旧今立町〕)	主要地方道武生・美山線沿いの清水谷トンネルの手前(越前市側)にあり、小さな洞穴内の岩間から湧出している。一年たっても腐らず、不老長寿の名水といわれている。多くの人が水を汲みに来ている。
12	おうじがいけ みず 皇子ヶ池の水 (越前市粟田部町〔旧今立町〕)	花筐公園の近くにある。継体天皇の二人の皇子(安閑天皇、宣化天皇)の産湯として使われたとの言い伝えがある。かつての池は埋め立てられ、現在は手汲み井戸になっている。
13	かみしょうず 神清水 (越前市山室町〔旧今立町〕)	白山神社の境内にあり、干ばつにも涸れたことがない。白山神社の神事には必ずこの清水が使われている。

	湧水等の名称 (所在地)	参考
14	ごぜんすい えんめい みず 御膳水(延命の水) (越前町天王〔旧朝日町〕)	八坂神社の境内にあり、水量は少ないが年間を通して水量・水温ともに一定である。飲み続けると病気の予防に効果があるといわれている。
15	おおたに くすみず 大谷の薬水 (越前町大谷〔旧宮崎村〕)	老人福祉センター「陶寿園」の北西にある。地下水を汲み上げており、各種イオンを含む鉱泉である。皮膚病に効くといわれ、入浴などに使われている。
16	こうぼうだいし みず 弘法大師の水 (越前町平等〔旧織田町〕)	平等集落の北の山の麓で、道路から階段を降りたところにある。水量は多くないが、真夏や真冬でも水量は変わらない。弘法さんの「長生きの水」といわれている。
17	おししょうず 御清水 (大野市泉町)	有終西小学校の南に位置している。かつて城主の米を炊く水として使われ、「殿様清水」とも呼ばれている。住民の生活に密着している。環境省「名水百選」に認定され、観光地になっている。
18	しのくらしんじゃ ごれいせん 篠座神社の御霊泉 (大野市篠座町)	篠座神社境内の弁天池の臼から湧出している。大国主命が「目の病気に効く霊水を与えた」という伝説があり、「篠座目薬」と謳われた。
19	ほんがんしょうず 本願清水 (大野市糸魚町)	市街地の南部にある。陸封型魚類のイトヨ生息地として国の天然記念物に指定されている。市の施設「イトヨの里」が整備されている。
20	しちけんしょうず 七間清水 (大野市元町)	大野市の七間通りに面しており、酒造会社が醸造用に汲み上げている地下水が水場で飲めるようになっている。
21	いしとうろうかいかん 石灯籠会館 (大野市本町)	大野市の石灯籠通り西端にある市街観光客の無料休憩所「石灯籠会館」において地下水を汲み上げ、水場で飲めるようになっている。
22	うんじょうい 雲城水 (小浜市一番町)	海のすぐそばに湧く淡水で、雲城公園内に自噴している。地区の人たちによって整備され、毎年7月に水まつり神事が行われている。遠方から水を汲みに来る人もいる。
23	うせいで 鵜の瀬井戸 (小浜市下根来)	環境省「名水百選」に認定されている「鵜の瀬」の近くに整備された公園にある。小浜商工会議所青年部が井戸を掘り、給水所を整備した。
24	うりわり たき 瓜割の滝 (若狭町天徳寺〔旧上中町〕)	若狭瓜割名水公園にある。あまりの冷たさに瓜が割れたという言い伝えがあり、環境省「名水百選」に認定されている。多くの人が水を汲みに来ており、近くの飲料事業者もミネラルウォーターとして販売している。
25	たきみ 滝ひめ (大飯町父子)	不動の滝公園にあり、地下水を汲み上げ、飲用できるようにしている。硬度が比較的高く、公社がミネラルウォーターとして販売している。
	25 か所	